

体験活動参加型・在宅取組型（小学校）

学校名等	大野町立北小学校
実施日時	令和4年10月18日・冬休み
会場	北小学校体育館・各家庭
参加人数	保護者19名児童21人・1年生21名
学習課題(分野)	家族で学ぼう、楽しもう(家族の大切さ) サイエンスものづくり塾 おひぎで読書
運営者の願い	心身ともに健全な子どもを育てるために、親子で課題をもって取り組み、ともに楽しんだり、活動をやりきったりすることを通して、ふれあいのよさを感じながら親子の絆を深めていくことができる。

学習の内容

<1 体験活動参加型 サイエンスものづくり塾・エジソンの会によるサイエンスショー>

10月に、北小学校体育館で実施。「サイエンスものづくり塾・エジソンの会」から講師2名を招き、様々な科学マジックをはじめとしたサイエンスショーに親子で参加した。風船を使った実験や、空気砲の実験などは、参加型で一緒にやらせていただけたので、親子ともに楽しみながら活動ができた。最後に、科学工作を親子で協力して行い、親子のふれあいを高めることができた。



<児童・保護者の感想>

- ・ パパといっしょにまなべて、たのしかったです。
- ・ どれも ワクワクどきどき、たのしいショーでした。りかのじゅぎょうがたのしみです。
- ・ 「えっ!?なんで?」と興味津々で、頭と心にとても良い刺激を頂きました。
- ・ 子どもたちも「やってみよう!」と意欲的になり、心に残る学びの時間となりました。

<2 在宅取組型 おひぎで読書>

冬休みに、親子の心と体のふれあいを目的として、「おひぎで読書」の取組を行った。冊数や本の内容、取組時間の指定はせず、子どもが親のひぎに座って読み聞かせを楽しむ活動内容で実施した。これまで、読み聞かせを行ってはいっても、ひぎにのせてというのは久しぶりという方も多く、親子のきずなを深める活動となった。

<児童・保護者の感想 >

- ・ たのしかった。またよんでもらいたい。
- ・ おかあさんにだっこしてもらって、本をよんでもらい、うれしかった。
- ・ これからも、おひぎでどくしょをしてほしいです。
- ・ ひぎの上のせて読書が私はひさしぶりでした。とても重くなっていて成長を感じることができたこと、私と絵本を読んでとても嬉しそうだったこと、私も楽しかったです。
- ・ 小さい頃とは違い、おとなしく最初から最後までしっかりと聞いてくれました。うれしそうな顔をしていたので、こちら心があたたまる感じでした。
- ・ いつぶりだろうと考えさせてくれた貴重な時間でした。お兄ちゃんだからといって後になってしまったり、時間がなくて読書してあげられなかったりしたことがありました。忙しくても手を止めて、「おひぎでどくしょ」の時間を大切にしようと思いました。



子どもの興味関心を引き出すとともに、親子でわくわくドキドキしながら楽しめる活動になりました。一緒に実験に参加することで、共通の話題ができ、家庭での団らんも豊かになりました。



読み聞かせは、親子の絆を深めるよい取組になります。幼いころはしていても、成長するにつれてだんだんしなくなってしまっている家庭が多い中、改めてその良さを実感するきっかけとなりました。取組後も、続けている家庭もあるそうです。